

バスケットコート

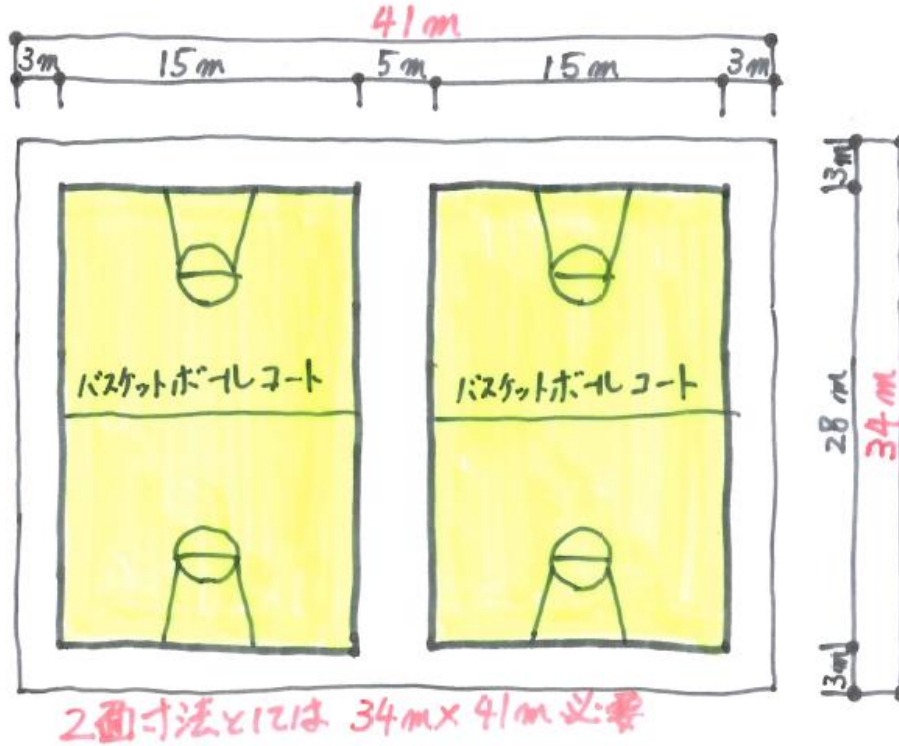


図 バスケットボールコート2面の必要寸法

出題問題

平成28年度 問題8	
建築物の各部の寸法等に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。	
1	中規模事務所ビルの廊下の幅員は、両側に居室がある場合、1.6m以上とする。従って、設問の「2.0mとした。」は正解である。
2	公共体育館の計画に、バスケットボールコート2面を配置する場合は、コート間を5m程度とし、周囲3m程度を確保し、コート間を5m程度とする。従って、設問の「2.0mとした。」は正解である。
3	バスターミナルの誘導通路の幅員は、バスの最小回転半径を考慮し、バスの全長や車軸距離により決定される。全長12m程度の大型バスの最小回転半径は、約12mである。
4	大規模量販店の売場の主要な避難通路は、2.7~3.3m程度、その他の通路は1.8~2.6mである。従って、設問の「避難通路を3.0mとし、それ以外の通路を1.8mとした。」は正解である。
解答 (正解肢2)	
○	廊下の幅員は、両側に居室がある場合、1.6m以上とする。従って、設問の「2.0mとした。」は正解である。
×	バスケットボールコートの二面配置には、床面の内法寸法を、30m x 35mでは小さく、34m x 41mは必要である。成人用バスケットボールコートは、15m x 28mである。従って、二面配置するためには、周囲3m程度を確保し、コート間を5m程度とすると、34m x 41m程度が必要となる(用語解説:5.各部寸法⑤バスケットコート参照)。
○	バスの最小回転半径は、バスの全長や車軸距離により決定される。全長12m程度の大型バスの最小回転半径は、約12mである。
○	大規模量販店の売場の主要な避難通路は、2.7~3.3m程度、その他の通路は1.8~2.6mである。従って、設問の「避難通路を3.0mとし、それ以外の通路を1.8mとした。」は正解である。